



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月5日

東・名

上場会社名 株式会社ヨシックス

上場取引所

コード番号 3221

URL <https://www.yossix.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)吉岡 昌成

問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営企画室室長 (氏名)松岡 龍司

(TEL)052(932)8431

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,847	△44.6	△1,350	—	△688	—	△574	—
2020年3月期第3四半期	14,168	6.1	1,720	7.5	1,938	6.8	1,236	6.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△55.67	—
2020年3月期第3四半期	119.80	119.47

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	11,915	7,085	59.5	686.49
2020年3月期	10,789	7,784	72.1	754.24

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,085百万円 2020年3月期 7,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2021年3月期の配当金につきましては、期末配当金は未定であります。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想につきましては、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	10,322,200株	2020年3月期	10,321,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	261株	2020年3月期	261株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,321,388株	2020年3月期3Q	10,316,982株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルスの感染拡大が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緊急事態宣言の解除により経済活動が再開されるなか、景況感は持ち直しに転じるものの、需要低迷が続く業種などを中心に回復は限定的となる見通しが続き、以前にもまして不透明な状況が増しております。

外食業界におきましては、人口減や高齢化による食需要の縮小、顧客の節約志向の高まりによる低価格化の進行、コンビニエンスストアや食品スーパー等の品揃え拡充に伴う中食市場の拡大、消費税増税の影響、新型コロナウイルス感染症拡大による営業時間短縮等により経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じながら、新規出店12店舗、業態転換4店舗を行いました。

「や台ずし」業態は新規出店11店舗、業態転換3店舗を実施し、店舗数が255舗（フランチャイズ含む）となり、総店舗数の78.2%を占め、当業態の売上高は6,606百万円となりました。

均一低価格居酒屋である「ニパチ」業態は、54店舗となり、総店舗数の16.6%を占め、当業態の売上高は947百万円となりました。

また、新業態として鉄板にのったニュースタイルの焼鳥店「焼とりてっぱん葵町」を名古屋市千種区にオープンいたしました。

以上の結果、店舗数につきましては、新規出店12店舗、業態転換4店舗、退店29店舗を実施し、当第3四半期会計期間末の店舗数は326店舗（フランチャイズ含む）となりました。また、当第3四半期累計期間における売上高は7,847百万円（前年同期比44.6%減）、営業損失は1,350百万円（前年同期は営業利益1,720百万円）、経常損失は688百万円（前年同期は経常利益1,938百万円）となり、四半期純損失は574百万円（前年同期は四半期純利益1,236百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は11,915百万円、負債は4,829百万円、純資産は7,085百万円であり、自己資本比率は59.5%となりました。

(流動資産)

流動資産につきましては前事業年度末に比べ912百万円増加し、8,091百万円となりました。これは主に現金及び預金が896百万円増加したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産につきましては前事業年度末に比べ212百万円増加し、3,823百万円となりました。これは主に繰延税金資産が206百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債につきましては前事業年度末に比べ1,549百万円増加し、3,910百万円となりました。これは主に預り金が447百万円及び支払手形及び買掛金が388百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債につきましては前事業年度末に比べ274百万円増加し、919百万円となりました。これは主に長期借入金が286百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産につきましては前事業年度末に比べ698百万円減少し、7,085百万円となりました。これは主に利益剰余金が698百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予測につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難な為、未定としております。

新型コロナウイルス感染対策による外出自粛要請、店舗の休業要請は当社業績に多大な影響を与えます。業績予想につきましては開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,570,841	7,467,282
売掛金	216,587	315,922
完成工事未収入金	1,997	1,536
たな卸資産	168,678	171,937
その他	220,941	135,286
流動資産合計	7,179,046	8,091,966
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,248,260	2,238,748
その他	586,877	625,597
有形固定資産合計	2,835,137	2,864,345
無形固定資産	4,384	3,678
投資その他の資産	771,358	955,192
固定資産合計	3,610,880	3,823,216
資産合計	10,789,927	11,915,182
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	500,150	888,626
1年内返済予定の長期借入金	45,000	143,322
未払金	695,608	1,061,954
未払法人税等	389,967	458,814
その他	730,253	1,357,429
流動負債合計	2,360,980	3,910,148
固定負債		
長期借入金	5,413	291,680
役員退職慰労引当金	398,511	415,980
その他	240,542	211,398
固定負債合計	644,466	919,058
負債合計	3,005,446	4,829,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,894	335,989
資本剰余金	363,999	364,094
利益剰余金	7,084,067	6,385,536
自己株式	△515	△515
株主資本合計	7,783,445	7,085,104
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,035	871
評価・換算差額等合計	1,035	871
純資産合計	7,784,480	7,085,975
負債純資産合計	10,789,927	11,915,182

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	14,168,108	7,847,591
売上原価	4,450,240	2,650,498
売上総利益	9,717,868	5,197,093
販売費及び一般管理費	7,997,409	6,548,091
営業利益又は営業損失(△)	1,720,458	△1,350,998
営業外収益		
協賛金収入	209,583	205,385
雇用調整助成金	—	411,475
その他	8,818	45,870
営業外収益合計	218,402	662,731
営業外費用		
支払利息	7	234
その他	—	43
営業外費用合計	7	277
経常利益又は経常損失(△)	1,938,853	△688,545
特別利益		
固定資産売却益	3,964	4,392
受取補償金	13,763	23,851
受取保険金	—	4,885
特別利益合計	17,727	33,129
特別損失		
固定資産除却損	924	52,941
減損損失	11,765	44,762
特別損失合計	12,690	97,704
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,943,891	△753,120
法人税、住民税及び事業税	660,143	27,782
法人税等調整額	47,683	△206,223
法人税等合計	707,826	△178,440
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,236,064	△574,679

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗の休業及び営業時間の短縮等により業績は大きく影響を受けております。新型コロナウイルス感染症の収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、徐々に回復するものの翌事業年度以降も一定の影響が継続すると想定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等の会計上の見直しを行っております。

(重要な後発事象)

(持株会社体制への移行)

当社は、2020年9月11日開催の取締役会において承認された吸収分割契約に基づき2021年1月1日付で持株会社体制へ移行し、当社の飲食事業及びこれに関連する事業を当社100%出資の子会社「株式会社ヨシックスフーズ」に、建装事業及びこれに関連する事業を当社100%出資の子会社「株式会社ヨシオカ建装」へ承継いたしました。

(1) 持株会社体制への移行目的

当社は、「赤ちゃんから おじいちゃん、おばあちゃんまで楽しくすごせる心・食・居を演出する」という企業理念のもと、「“あたりまえや”を当り前に」の社是を掲げ、居酒屋チェーンの直営による経営、フランチャイズによる店舗展開を行う飲食事業および飲食店建築を中心とした建装事業を主な事業内容としております。

外食業界におきましては、人材需給の逼迫に伴う人件費や採用コストの上昇、消費税率引き上げの影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による来店客数の減少等、経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

当社は、このような厳しい経営環境においても積極的な出店戦略等により、持続的に成長を続けることで「日本一の居酒屋チェーン」を目指しており、そのためには中核である飲食事業「や台やグループ」の一層の業容拡大に加え、祖業である建装事業の更なる発展、および現在の当社事業範囲にとらわれない新事業への進出、創出が重要であると考えております。

今般、当社を更に発展させ、持続的な成長を続けていくためには、各事業部門における責任と権限の明確化による指揮命令系統の確立により、経営のスピードを更に引き上げることでグループ経営体制を強化することが必要であると考え、持株会社体制への移行を決定いたしました。

(2) 本件分割の方式

本件分割は、当社を吸収分割会社（以下「分割会社」という。）、当社100%出資の分割準備会社である株式会社ヨシックスフーズ及び株式会社ヨシオカ建装を吸収分割承継会社（以下「承継会社」という。）とし、当社の事業のうち、飲食事業に関して有する権利義務を株式会社ヨシックスフーズに承継し、建装事業に関して有する権利義務を株式会社ヨシオカ建装に承継させる吸収分割であります。

(3) 分割した部門の経営成績（2020年3月期実績）

①飲食事業及びこれに関連する事業

(単位:千円)

	分割事業	当社実績(単体)	比率
売上高	18,698,590	18,709,080	99.9%

②建装事業及びこれに関連する事業

(単位:千円)

	分割事業	当社実績(単体)	比率
売上高	10,489	18,709,080	0.1%

(4) 分割する資産、負債の項目及び金額（2020年3月31日現在）

①飲食事業及びこれに関連する事業

(単位:千円)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	1,032,104	流動負債	1,310,144
固定資産	518,581	固定負債	240,541
合計	1,550,685	合計	1,550,685

②建装事業及びこれに関連する事業

(単位:千円)

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
流動資産	200,577	流動負債	201,057
固定資産	480	固定負債	—
合計	201,057	合計	201,057

(5) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」、「事業分離等に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。